

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	51-1
------	------

事業名	子ども・若者育成支援推進事業(協議会)		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅱ	基本目標	3	基本方策	⑤総合的な相談・支援体制の整備					
事業内容	ニート・ひきこもり・不登校など社会生活を円滑に営む上で困難を有する子どもや若者に対して、効果的かつ円滑な支援を実施するため、「千葉県子ども・若者支援協議会」を設置し、各機関の取組の情報交換や支援の充実に向けた検討を行う。									
当初予算額(千円)	H30年度	275	R元年度	275	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)	H30年度	141	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・代表者会議を1回、担当者会議を3回実施し、平成27年度に初版を作成した相談・支援機関情報冊子である「困難を有する子ども・若者の相談・支援機関ガイドブック(通称セレクトシステム)」を改訂した。また、アウトリーチ(訪問)型支援の実践状況把握のため、県内機関や先進地域である佐賀県へ視察を行った。
 ・人材育成研修では、NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば平田智子副理事長による「不登校・ひきこもりの理解と支援～アウトリーチを行う際のポイント～」をテーマとした講演や、県子どもと親のサポートセンターの不登校対策支援チーム等による取組紹介を行った。

(2)事業の成果

・第3次千葉県青少年総合プランにおける「総合的な相談・支援体制の整備」について施策の充実を図った。
 ・「困難を有する子ども・若者の相談・支援機関ガイドブック」の改訂により、支援体制の充実を図った。
 ・人材育成研修では、市町村、学校関係者、支援機関等から66名が参加し、アウトリーチ型支援の実践における要点のほか、生活困窮者自立支援制度や県不登校対策支援チーム等の活動について学ぶことができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続き、千葉県子ども・若者支援協議会を運営し、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者への支援の充実のための検討や人材育成研修を実施する。
 ・今年度の同協議会では、第3次千葉県青少年総合プランの方策「総合的な相談・支援体制の整備」に基づき、地域における相談支援機関と千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」との連携強化や、同協議会のあり方について検討する予定である。
 ・人材育成研修については、県内の行政機関・学校・民間団体において子ども・若者の支援や相談業務に携わっている方などを対象に、昨年度に引き続きアウトリーチ型支援の充実をテーマに開催する予定である。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

		事業NO	51-2
事業名	子ども・若者育成支援推進事業(総合相談センター)		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅱ	基本目標	3	基本方策	⑤総合的な相談・支援体制の整備					
事業内容	千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を運営し、ニート・ひきこもり・不登校など子ども・若者(概ね39歳まで)及びその家族等からの様々な悩みを、専門の相談員が聞き、助言や必要な情報の提供、適切な支援機関の紹介を行う。									
当初予算額(千円)	H30年度	16,015	R元年度	15,975	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		15,606								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・平成30年度は、千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」において1,079件の相談に対応した。(うち、241件が面接相談。)

・また、同センターにおいて、保護者向け勉強会(年4回)、関係機関向け連携会議(年6回)を行った。

・千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を紹介するためのリーフレット20,000部、ポスター2,000部を作成した。また、県内の支援機関を広く紹介するリーフレットを20,000部を作成した。

(2)事業の成果

・平成29年度から実施している面接相談については、H30年度は実施2年目となり対応件数は微増した。面接相談では、相談者の悩みを的確に把握し、より適切な助言や支援先の紹介等を行った。

・保護者向け勉強会では保護者が子どもとの関わり方を学ぶ機会を提供した。また、関係機関向け連携会議では、延べ73機関が参加し、事例の検討を通してお互いの機関の特徴等を知るとともに、困難事例への対応策等を協議し、連携体制の強化を目指した。

・リーフレット等の作成については、市町村や学校、医療機関等のほか各種研修会等で配付し、教職員や関係機関に対し当センターの周知を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・電話相談及び面接相談について、効果的に実施するとともに、保護者向けの勉強会や関係機関向け連携会議を引き続き実施し、子ども・若者が新たな一歩を確実に踏み出せるよう支援する。

・昨年度開始した「若者を対象とした支援プログラム」について引き続き実施し、適切な支援機関等が直ちに見つからず、家にこもりがちになっている義務教育終了後から30歳前後までの若者が、生活リズムの見直しや、復学、適切な支援機関の利用など、自立に向けて着実に動き始められるよう支援する。

○参考

関連指標	[総合的な相談・支援体制の整備]					目標	増加を目指します(潜在的なニーズの掘り起こしを継続的に実施)
	千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」における相談件数						
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	総相談件数 733件 うち面接相談件数 0件	総相談件数 1,313件 うち面接相談件数 238件	相談件数 1,079件 うち面接相談件数 241件				

4 委員意見

5 担当課回答

--	--